

## 第2次対馬市環境基本計画（案）に対する パブリックコメントの募集結果

パブリックコメントとは、市の基本的な政策の策定過程において、その案を示し、広く市民等からの意見を求めるもので、今回、「第2次対馬市環境基本計画（案）」について実施いたしました。

つきましては、お寄せいただいたご意見に対する回答（考え方）を下記のとおり公表いたします。

### 1. 募集期間

令和5年2月1日（水）～令和5年3月2日（木）

### 2. 意見応募件数

1件 9項目

### 3. ご意見に対する回答（考え方）

No.	項	ご意見	回答（考え方）
1	7	<p><b>表1の説明文（本文）について</b></p> <p>計算上の数値であり、あくまでも森林が適正に保全されていることが前提ではないのか、すべての森林について適正に保全されているのか。</p> <p>正しくは「試算上、1,756億円/年間の経済効果を生むポテンシャルを秘めており、対馬市が目指す循環型経済の大きな柱として最大限活用する取り組みが求められている」ということではないのか。</p> <p>また、試算額のうちに経済額として反映されているものがいくらかあるのかを示すべきではないか。</p>	<p>ご指摘のとおりではありますが、試算額は「日本学術会議(2001)地球環境・人間生活に関わる農業及び森林の多面的な機能の評価について」から引用したものであり、経済額を算出したものではないため、お示しすることができません。ただし、自然資本を経済額として試算していくことは重要だと認識しています。</p> <p>また、説明文（本文）にあっては、ご意見を参考とさせていただき一部修正します。</p>
2	17	<p><b>表3の6-1の1人1日当たりのごみ排出量の削減について</b></p> <p>「23年度/24年度」844g/人・日が「R3」1,102g/人・日と大幅に増えているが、ごみの種類等何が増えて、なぜ増えているのか、どんな課題があり今後どう取り組んでいく必要</p>	<p>1人1日当たりのごみ排出量が増加していることについては、様々な要因があると思いますが、外国人観光客の増、近年では台風等による自然災害による増、また、コロナ禍による片付けごみの増が考えられます。</p> <p>ごみの総排出量については、横ば</p>

		<p>があるのか等の分析評価はできているのか。</p>	<p>いもしくは微増ではありますが、人口減少（社会減・自然減）により分母の母数が年々減少しており1人当たりの排出量が増えた要因と考えます。</p> <p>今後については、生ごみの分別回収・資源化を最優先に、市民一人ひとりが、ごみを削減する意識を持ち、4Rの徹底を進めSDGsに取り組んでいく、その後押しを行政が進めていく必要があると考えます。</p>
3	38	<p><b>5-1-(8)の前期5年間で優先的に取り組むことについて</b></p> <p>ここで達成しようとしているのは、</p> <p>①市民の意識改革と行動変容を進める仕組みを検討する</p> <p>②モデル地域設定のうえ地域内での効果的な生ごみ回収と完熟堆肥を製造する仕組みの構築</p> <p>の2点か。</p> <p>本来は、上の段の「目標・あるべき姿」に掲げている</p> <p>①道路沿い・山林、空き地等のごみの完全になくす。</p> <p>②不法投棄のない島の実現</p> <p>③生ごみ回収率50%以上の達成</p> <p>④生ごみ堆肥の有効活用による有機栽培作物の生産から流通と販売促進までの仕組み（制度化）を構築し産業振興の一助とする。</p> <p>⑤「ごみゼロアイランド対馬宣言」に共感し、4Rを実践する市民の大幅増加を図る。</p> <p>以上の5項目を達成すべきではないのか。</p>	<p>前期5年間で優先的に取り組むことについては、費用対効果や他の施策への影響も踏まえて絞り込んでいきます。</p> <p>集落ごとでの集落内のごみ拾いの機会を増やし、ポイ捨てや不法投棄に対する市民の意識改革と行動変容を進める仕組みを検討することを優先的に取り組みたいと考えており、「具体的な施策・事業」にも優先度の高いものとして記載しています。</p> <p>まずは、モデル地域を設定して、その地域で生ごみの回収等の仕組みを構築し、その波及効果に期待して速やかに全島展開していきたいと考えているところです。</p> <p>これらの取組みによって、「目標・あるべき姿」に掲げている内容を達成することに繋がると考えます。</p>
4	46	<p><b>6-1. 意識改革と行動変容への数値目標の設定について</b></p> <p>この計画やSDGsアクションプランなど誰も取り残さない島づくりに取り組むうえで「市民の意識改革と行動変容」については非常に重要なテ</p>	<p>市職員の意識改革と行動変容については、対馬市環境審議会でも委員から意見がでているところであり重要性を認識しています。</p> <p>今年度、関係部署に対馬市SDGs推進員を配置したところであり、部</p>

		<p>ーマである。このことを強く進めるうえでまず初めの取り組みとして「市職員への意識改革と行動変容」に取り組むことが最重要課題ではないか。</p> <p>3頁の「策定目的②行政職員や市民・事業者の道標として」の4～6行目に「市職員は、計画に沿って、制度や施策、各種事業を設計し、市民や島内外の事業者等と連携して、環境保全と創造に資する取り組みを推進していく」こととしていることから、最重要・最優先課題と考える。</p>	<p>局間の横断的な連携及び関係市民等との協働等の中心的な役割を担う職員として必要な研修等の開催を計画していきます。</p>
5	47	<p><b>表5. 6つの指標 (KPI) に対する現状と目標値について</b></p> <p>KPIの目標値が低すぎないか。1～5はもっと高い目標を立て(本計画の推進と目標を達成するためには)真剣に取り組めば実現可能と考える。</p> <p>特に1～3は、「ごみゼロ宣言」を達成することを目指すならば当然もっと高い目標が設定されるはずである。さらに、2の「1人1日当たりごみ総排出量」の目標数値 980gは「23年度/24年度」844gさえもクリアできない目標値となっているのはいかがなものか。</p>	<p>目標値の設定については、現状を把握したうえで適当な目標値であると考えます。</p> <p>2の「1人1日当たりごみ排出量」については、ご指摘のとおりではありますが、上記No.2の回答(考え方)のとおり増加している現状でありますので、それを踏まえて目標値を設定しており、対馬市一般廃棄物処理基本計画とも整合をとっています。</p>
6	48	<p><b>6-2. 効果的に事業や施策を展開するための視点について</b></p> <p>本文1行目の「ごみゼロアイランド対馬宣言」について、ごみゼロを実現するためにはごみゼロ実現に向けたロードマップの作成が必要ではないか。</p> <p>現状(現在のごみの総量(種類ごとなどできるだけ詳細に))を正確に把握し、いつまでにどのような方法でゼロにするのかを明確化したロードマップを作成し公にする必要がある。その上で数量・金額などエビデンスに基づいた計画とすべきである。</p>	<p>ごみゼロ実現に向けたロードマップの作成は必要であると認識しています。</p> <p>今後、関係部署で協議を進め、市民や専門家とともに具体的なロードマップを作成していきたいと考えています。</p>

7	52	<p><b>進行管理の方法～どのように計画を評価していくのか～について</b></p> <p>PDCA サイクルの図について、サイクルの期間はどれだけか。</p> <p>少なくとも1年ごとに分析・評価し改善する積み重ねが必須ではないかと考える。</p>	<p>PDCA サイクルは、各部署がそれぞれの事業において実施していくべきことだと考えています。その進捗評価等については、毎年、対馬市環境審議会において意見を求めます。</p> <p>なお、環境基本計画全体の進捗評価(CHECK)と改善(ACTION)については、記載のとおり前期5年間の終了後に実施します。</p>
8	52	<p><b>施策の進捗評価の時期～いつ評価するのか～について</b></p> <p>本文1行目に「進捗評価や改善は、各担当課が、必要に応じて行う」とあるが、「必要に応じて」というのは、「やりたいときにやる」→「やらない」ことにつながる可能性がある。</p> <p>せめて毎年、評価・分析と振り返りが不可欠である。また、担当課各々が確実かつ正しく客観的に分析・評価されることを担保するためには、議会や第三者委員会など外部のチェックが必要である。その上で市民への公開・報告こそ最重要である。</p>	<p>各担当課が取り組む事業は多岐に渡り、対馬市総合計画や各分野別計画等の改定時期等、それぞれの事業ごとに実施されるものと考えています。その中で本計画に記載のある事業については、対馬市環境審議会においても意見を求めます。</p> <p>また、市議会に対しても本計画について報告しているところであり、今後の照会等にも対応して参ります。</p> <p>なお、市民への公表・報告については、年次報告書を作成しホームページで公表します。</p>
9	52	<p><b>施策の進捗評価の時期～いつ評価するのか～について</b></p> <p>本文3～4行目は、何をどんな目的でどのように取り組んで、その結果や成果がどのようなものをわかりやすく開示し市民の理解を得なければ、市民の満足度向上や調査への積極的な協力による調査は実現できないと考える。</p>	<p>ご指摘のとおりでありますので、ご意見を参考に追記します。</p>